

森の通信

Museum and Cultural Institutions of Miyazaki Prefecture

宮崎県
総合博物館だより
第14号

発行日/平成3年8月29日

発行 / 宮崎県総合博物館 〒880 宮崎市神宮2丁目4番4号 TEL (0985) 24-2071



「湖畔」油彩1897

明治26年フランスから帰国した黒田清輝は、印象派の明るい色彩を取り入れた作品を発表しました。黒田清輝が導入した色彩は外光派と呼ばれ、わが国の洋画界に画期的な展開をもたらしました。写真の作品「湖畔」は、明治30年に制作したもので、第2回白馬会展に「避暑」の題で出品したのち1900年のパリ万国博に「智・感・情」とともに出品したものです。背景の湖

は芦ノ湖、モデルは黒田夫人です。

この展覧会は、東京国立文化財研究所の所蔵品から、近代日本洋画の巨匠黒田清輝の画業を紹介するものです。代表作「湖畔」、「智・感・情」、「梅林」をはじめ新収蔵作品「雪子」やデッサンの名品のほか写生帖、日記、書簡、遺品など140点の展覧は、永く心に残るものと思います。

(永井)

近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展

会期/8月24日(土)~9月29日(日) 休館日: 8/26, 9/2, 9/9, 9/17, 9/24

会場/宮崎県総合博物館 宮崎市神宮2-4-4 電話: 0985-24-2071

入館料/大人800(600)円、高・大生600(400)円、小・中生400(200)円

()内は、前売り・団体(20名以上)の料金

＜宮崎の歴史をつくった人々＞

川 越 進

— 分県運動を推進した気骨の政治家 —

(1848～1915)

分県運動最大の功労者である川越進は、嘉永元(1848)年、飢肥藩士川越茂平の子として、宮崎郡加納(現清武町)に生まれました。郷学明教堂に学び、明治5(1872)年には若くして、加納地区の戸長に任じられています。廃藩置県後は、新設された宮崎県の職員として、地租改正などの事務にあたりました。明治9(1876)年、本県が鹿児島県に併合されると鹿児島県宮崎支庁に勤務し、翌年起的西南戦争では、飢肥隊の一人として薩軍に加わりました。戦後、明治13(1880)年、那珂・宮崎郡から県会議員に当選し、同14年副議長、同16年には議長に就任するなど、宮崎出身でありながら、鹿児島県議会の中心的存在として人望を集めました。

ところで、先に述べた西南戦争は、宮崎のほぼ全域が戦場と化し、長引く戦いにより田畑の荒廃、家屋の焼失、人材の損失など本県は大きな打撃を被りました。そして、この後急速に鹿児島併合への不満の声が高まっていったのです。このような状況の中で、鹿児島県からの分離独立の必要性を痛感した川越進は、藤田哲蔵・中村二逸・岩切門二等の同志とともに、分県運動に心血を注ぎ、併合の不合理性を内外に訴えつづけていきました。再三の上京、元老院・内務

省・伊藤博文等政府要人への請願は、3年余にもわたって粘り強くくりひろげられました。そして県令・鹿児島県議会などからの様々な圧迫をはねのけ、明治16(1883)年3月、鹿児島県議会におき「鹿児島県下日向国分離の建議案」が可決され、同年5月9日の太政官布達により、遂に宮崎県再置県を克取ったのでした。

川越進を先頭に展開されたこの分県運動は、日向人が最も燃えたでき事として、本県の近代史上特筆すべきことといっても過言ではないでしょう。

さて、この後宮崎郡長を経て、明治23(1890)年、本県最初の衆議院議員となった川越進は、以来引退する大正元(1912)年まで国政に尽力、大正4(1915)年宮崎市で亡くなりました。

本県がうんだ、明治の気骨の政治家—川越進は、現在東京青山墓地に静かに眠っています。
(津隈)



外国のクワガタムシ

大きなあごに特徴を持つクワガタムシの仲間は、東南アジアを中心に全世界の多様な地域で多くの種類が生活しています。本館では、その中の一部をコーナー展示で紹介しています。(岩崎)



オウゴンオニクワガタ
全体が金銅色で美しい種



ニジロクワガタ
クワガタムシの中で最も美しいと言われている。



チリクワガタ
あごの形が特異な種

西都原資料館 紹介

県総合博物館 西都原資料館

四季折々の花、緑の森に囲まれた「西都原風土記の丘」は、西都原台地上に群集する古墳の保護と自然環境の整備が行われている特別史跡公園です。

西都原古墳群は、西都市街地西部の東西2km南北4kmの台地一帯に広がる大規模なものです。広々とした古墳群に古代の面影を求めて訪れる人も多いようです。古墳群の特徴としては、311基もの多くの古墳が密集していること、各種の形の古墳がみられることと、大正年間に全国に先がけて古墳の学術調査がなされたことなどです。千数百年の眠りを続けているこの地は、古代のロマンが感じられる所といえるでしょう。

県総合博物館西都原資料館は、この西都原古墳群の一角にあります。昭和43年に開館しました。建物は、半地下式構造になっており、自然の景観をそこなわれないように工夫されています。館外には古代住居の建物、館内には考古資料と民族資料の二つの展示室があります。

考古資料展示室には、大正年間の発掘調査で出土した埴輪や武器、武具、装身具等を中心にその後、周辺地域で出土した土器等もあわせて



〔西都原資料館全景〕

展示しています。主なものとしては、国の重要文化財である「子持家形埴輪」（複製）と「舟形埴輪」（複製）があります。子持家形埴輪は全国でただ一つの出土品です。中心となる家の前後左右に小家屋をつけたもので、総長94cm、高さ54cmの堂々たるものです。その他、「三角縁三神三獣鏡」「短甲」もあります。

民族資料展示室には、国の重要有形民俗文化財指定の「東米良の狩猟用具」をはじめとして周辺の山村生産用具などを展示しています。

近年は、歴史学習の場としての価値をふまえた県内外からの来館が多くみられます。

（地村）

Let's Go Museum



〔西城美術展の鑑賞の様子〕

特別展「西城美術展」は、5月から7月にかけて開催。大勢の熱心な鑑賞者でにぎわいました。

なお、5月から7月末までに来館された県内の学校・団体の皆さんは、右表のとおりです。

県内来館団体一覧（5～7月）

5月	日知屋小、宮崎南小、有水小、西郷村連合小学校、三納小、乙房小、潮見小、門川小、明道小、木之川内小、石山小、五十市小、木脇小、都農小、新富小
6月	日向学院中、宮崎高等看護学院、中・高美術担当、赤江養護、田野町東桜婦人会、西池小PTA、児湯養護、国立療養所、宮崎病院附属高等看護学校、福瀬小PTA、大宮中、都城市医師夫人会、西米良村婦人会、国富町見直才養護研修大学、宮崎日大、都城商業、都城西小親子学級、宮崎第一高、上新田小PTA、綾中PTA、自民党日向支部婦人部、野尻小PTA、山田小家庭教育学級、宮崎市立小・中学校初任教員、延岡地区高等学校、佐土原高、資生堂、宮崎港小家庭教育学級、宮崎工業専門学校建築学科、田野町上井倉婦人会、中露島小家庭教育学級、木花中家庭教育学級、江平小親子学級、宮崎在住京都女子大OB、三股西小家庭教育学級、生目台東小家庭教育学級、県教育研修センター長期研修員、宮崎県会議員夫人団
7月	延岡市充真院学友会、西都原友の会、都城市役所、都城高専建築学科、国富町文化協会、門川小PTA、沖水中、大宮高、高千穂高PTA、川南町コスモゼミナール、附属小いちよう校舎、県広報公聴課、尚学館中

9	月	10	月	11	月	12	月
---	---	----	---	----	---	----	---

◆コーナー展示及び特別展

自然史	外国のクワガタムシ	10/27	10/29	宮崎の食虫植物
考古	玉			
歴史	9/4	川越進		
民俗	教育用具			12/1 12/4 川漁用具
美術	黒田清輝展 9/29	10/30	11/17	開館20周年記念 館蔵秀作美術展 11/23 12/8 刀と陶磁器 11/23 12/23 版画
埋蔵文化財センター	9/14	天神河内第1遺跡（田野町）		
西都原資料館	西都原の地下式横穴墓	11/10	11/13	日向の国分寺
	養蚕用具			

◆普及活動

- 博物館 …… 森の学習会 — 10/2「宮崎の遺跡を歩く」、10/23「分県運動とそれを取り巻いた人々」、11/6「運搬用具」、11/27「宮崎の刀剣」、12/11「日向の川漁」
小・中学校児童生徒の採集作品展 — 10/4～13
- 県民文化ホール …… 森の名園座 — 11/15「理由なき反抗」
森のコンサート — 10/19「マンドリンの夕べ」
- 埋蔵文化財センター …… 遺跡をたずねて — 9/28、12/21「埋文講座」
10/26、11/23「埋文教室」

